

## 第2章 保健医療提供体制の状況

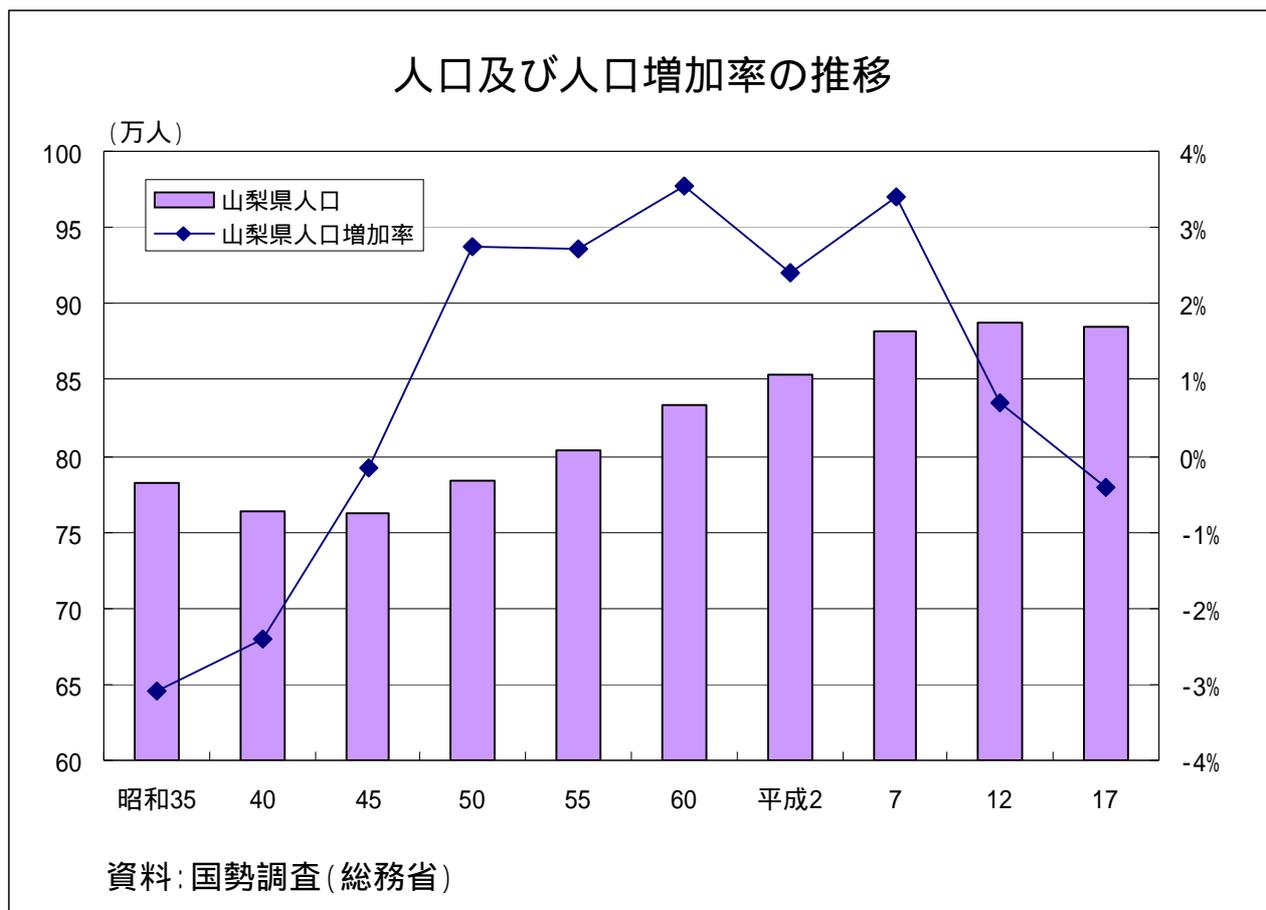
### 第1節 保健と医療の現況

#### 1 人口

##### (1) 総人口

平成17年の国勢調査(総務省)によると、本県の人口は884,515人(男433,569人、女450,946人)となっており、昭和45年以降は増加が続いていましたが、平成17年から減少に転じています。

平成17年における本県の人口増加率は、-0.4%となり、全国の平均人口増加率0.7%、平成12年における本県の人口増加率0.7%を、ともに1.1ポイント下回っています。

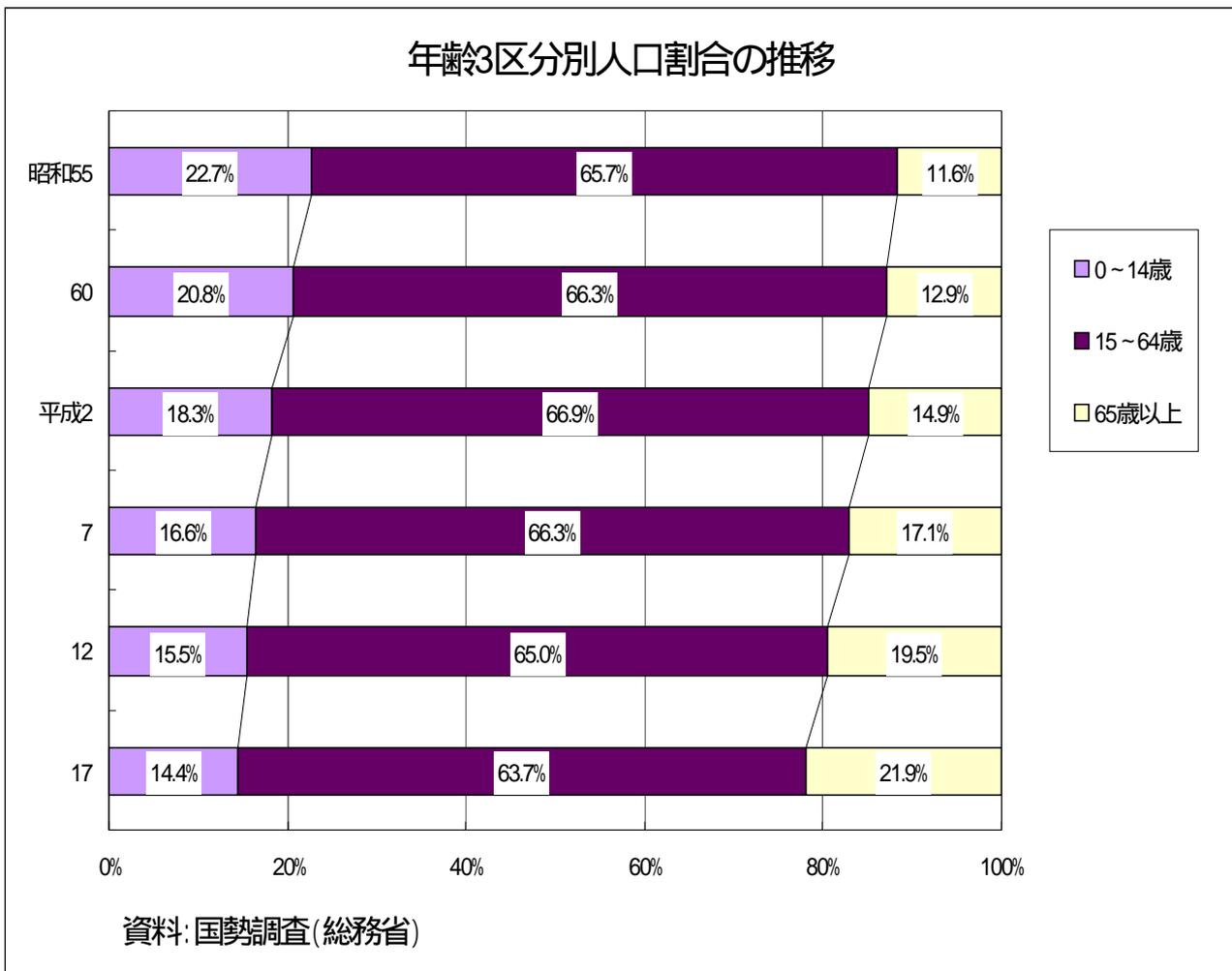


## (2) 年齢階級別人口

平成17年の国勢調査(総務省)をもとに本県の人口を年齢3区分にしてみると、年少人口(0~14歳)は127,627人、生産年齢人口(15~64歳)は562,495人、老年人口(65歳以上)は193,580人で総人口に占める割合は、それぞれ14.4%、63.7%、21.9%となっています。

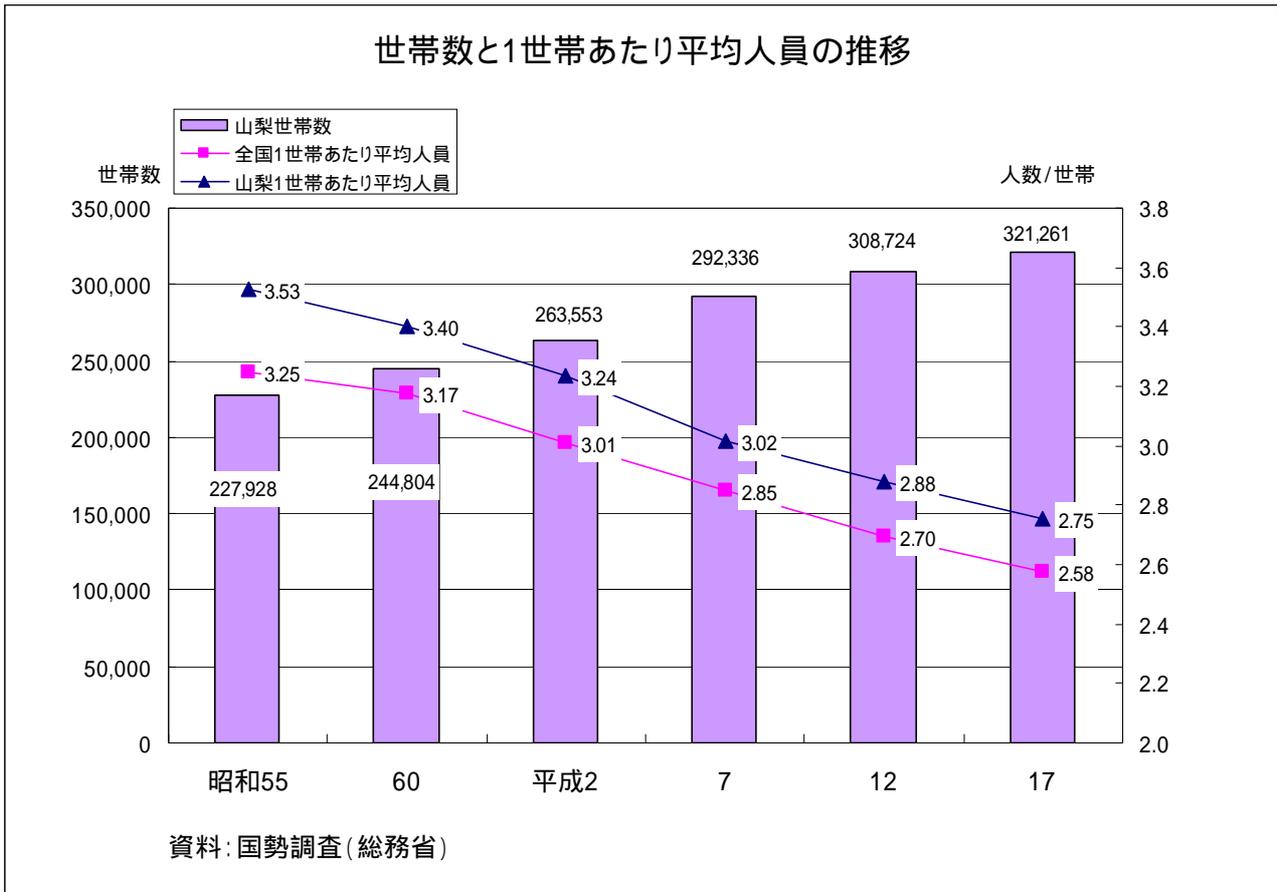
全国の年齢3区分人口割合(年少人口:13.7%、生産年齢人口:66.1%、老年人口:20.2%)と比べると、年少人口の割合は0.7ポイント、老年人口の割合は1.7ポイントそれぞれ上回っていますが、生産年齢人口の割合は2.4ポイント下回っています。

本県の年齢3区分別人口割合の推移をみると、年少人口は減少している一方、老年人口は増加を続けており、平成7年では老年人口が年少人口を上回りました。



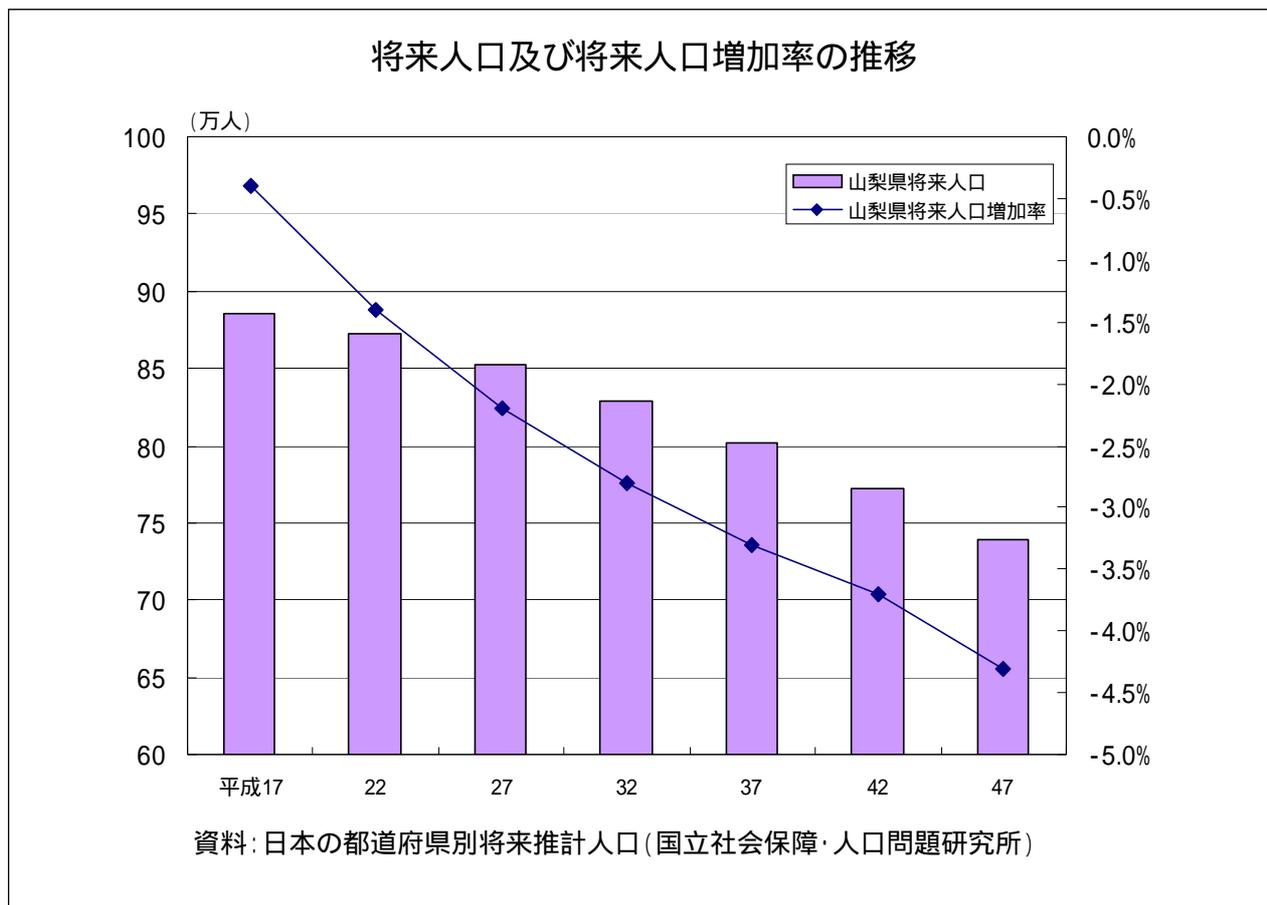
### ( 3 ) 世帯数

平成 17 年の国勢調査( 総務省 )によると、本県における一般世帯数は 321,261 世帯、1 世帯あたりの平均人員は 2.75 人となり、全国における 1 世帯あたりの平均人員 2.58 人に比べ 0.17 人多くなっていますが、平成 12 年の本県における 1 世帯あたりの平均人員 2.88 人からは 0.13 人減少しており、一世帯あたりの小規模化が進んでいます。



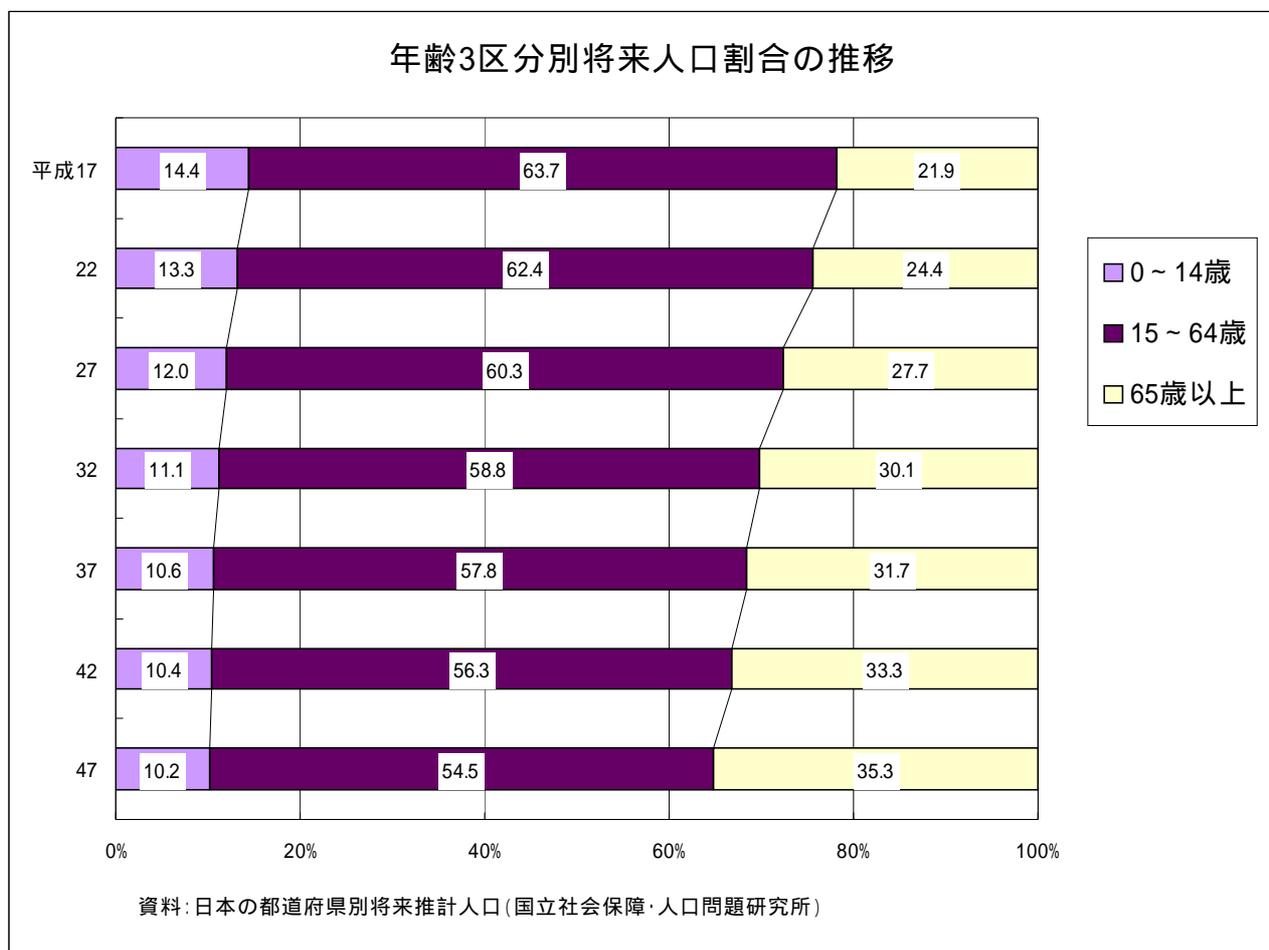
#### (4) 人口の将来推計

「日本の都道府県別将来推計人口」(国立社会保障・人口問題研究所)によると、本県の人口は、平成17年の885千人から平成47年には739千人へ減少すると推計されており、将来人口増加率も、平成17年の-0.4%から平成47年には-4.3%へ減少すると推計されています。



本県の平成 17 年の人口を年齢 3 区分にしてみると、年少人口（0～14 歳）は 128 千人、生産年齢人口（15～64 歳）は 563 千人、老年人口（65 歳以上）は 194 千人で総人口に占める割合は、それぞれ 14.4%、63.7%、21.9%となっていますが、平成 47 年には年少人口は 75 千人、生産年齢人口は 403 千人、老年人口は 261 千人で総人口に占める割合は、それぞれ 10.2%、54.5%、35.3%になると推計されています。

年少人口割合が 4.2 ポイント、生産年齢人口割合が 9.2 ポイントそれぞれ減少する一方で、老年人口割合が 13.4 ポイント増加しています。

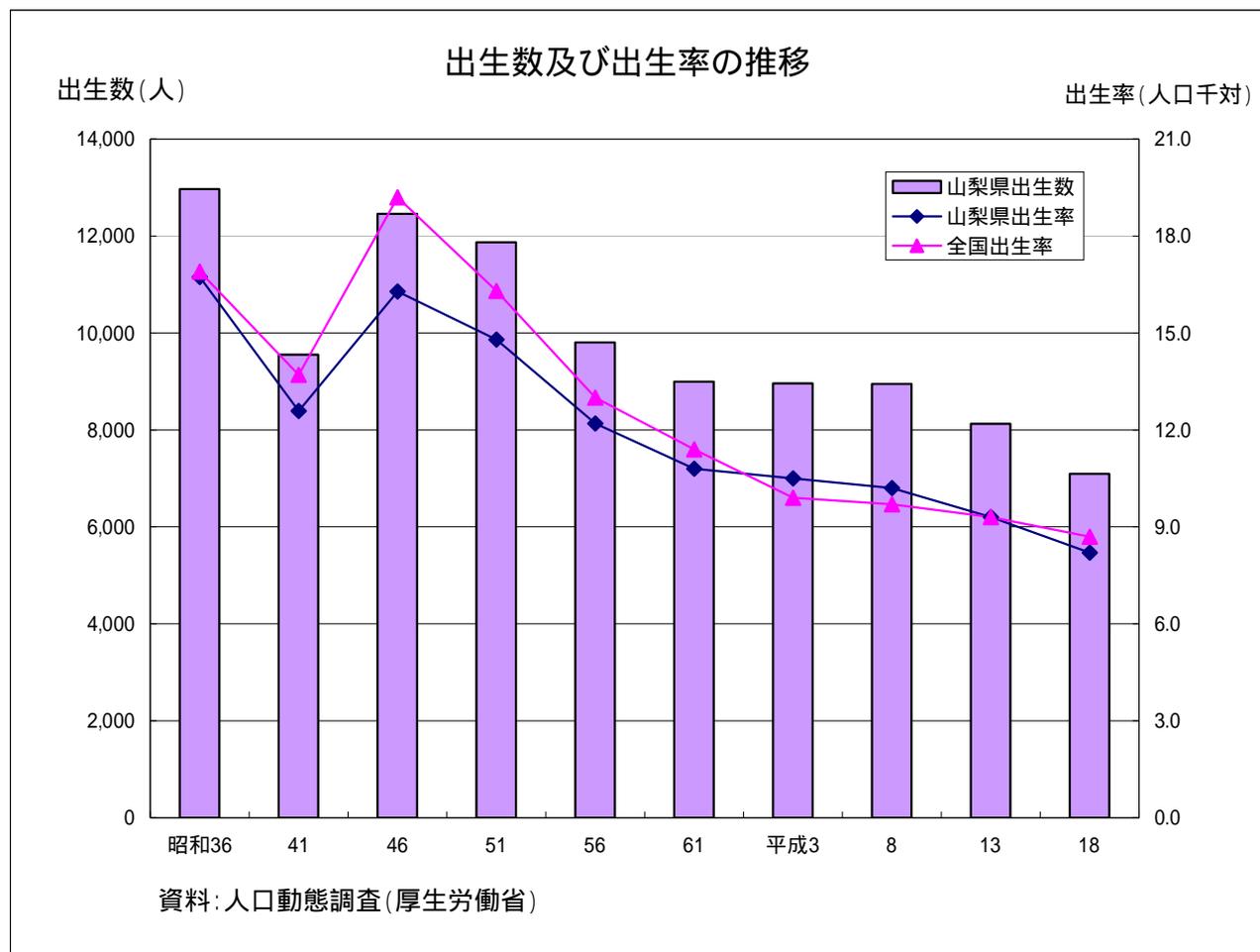


県の将来人口が減少していく一方で総人口に占める老年人口の割合は増加することが推計されるなど、保健医療をめぐる状況の変化に対応した体制の整備が必要になります。

## 2 人口動態

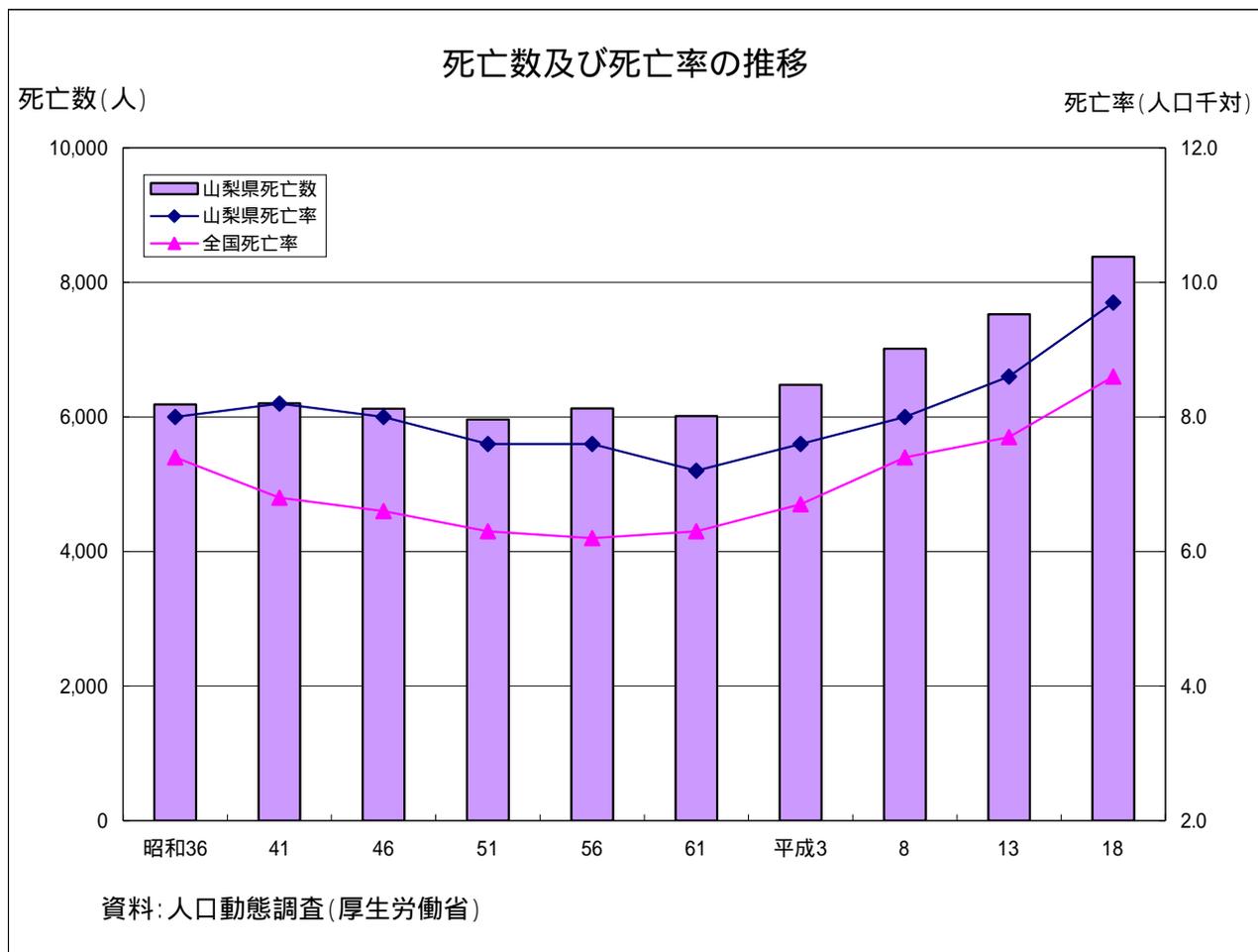
### (1) 出生数、出生率

人口動態調査（厚生労働省）によると、平成 18 年の本県の出生数は 7,094 人、出生率（人口千対）は 8.2 となり、全国出生率 8.7 に比べ 0.5 少なく、平成 13 年の本県出生率 9.3 からは 1.1 減少しており、少子化が進行しています。



## (2) 死亡数、死亡率

人口動態調査（厚生労働省）によると、平成 18 年の本県の死亡数は 8,380 人、死亡率（人口千対）は 9.7 となり、全国死亡率 8.6 に比べ 1.1 多く、平成 13 年の本県死亡率 8.6 からは 1.1 増加しています。



平成 18 年の本県の死因別死亡数及び構成割合をみると、死因順位の上位 10 死因は全国とほぼ同じ順位であり、第 1 位 悪性新生物（28.7%）、第 2 位 心疾患（高血圧性を除く）（16.0%）、第 3 位 脳血管疾患（11.9%）の上位 3 死因で死亡総数の 56.6%（全国 58.2%）を占めています。

### 総死亡に対する主要疾患別割合

順位	全 国			山 梨 県		
	死因	死亡数(人)	構成割合	死因	死亡数(人)	構成割合
1	悪性新生物	329,314	30.4%	悪性新生物	2,409	28.7%
2	心疾患(高血圧性を除く)	173,024	16.0%	心疾患(高血圧性を除く)	1,338	16.0%
3	脳血管疾患	128,268	11.8%	脳血管疾患	998	11.9%
4	肺炎	107,242	9.9%	肺炎	775	9.2%
5	不慮の事故	38,270	3.5%	不慮の事故	309	3.7%
6	自殺	29,921	2.8%	老衰	304	3.6%
7	老衰	27,764	2.6%	自殺	248	3.0%
8	腎不全	21,158	2.0%	腎不全	164	2.0%
9	肝疾患	16,267	1.5%	肝疾患	128	1.5%
10	慢性閉塞性肺疾患	14,357	1.3%	慢性閉塞性肺疾患	125	1.5%
死亡 総数		1,084,450			8,380	

資料：平成18年人口動態調査(厚生労働省)

死亡者数の多いがん（悪性新生物）、心疾患、脳血管疾患の3疾病を中心に、予防の推進、検診受診率の向上及び良質な医療を効率的に提供する医療連携の推進を図る必要があります。

### 3 医療施設の概況

#### (1) 病院

医療施設調査（厚生労働省）によると、平成18年10月1日現在の本県における病院数は61施設（一般病院53施設、精神科病院8施設）、人口10万対で6.9施設となり、全国平均7.0施設を0.1施設下回っています。

一般病院数は53施設、人口10万対で6.0施設となり、全国平均の6.2施設を0.2施設下回っています。

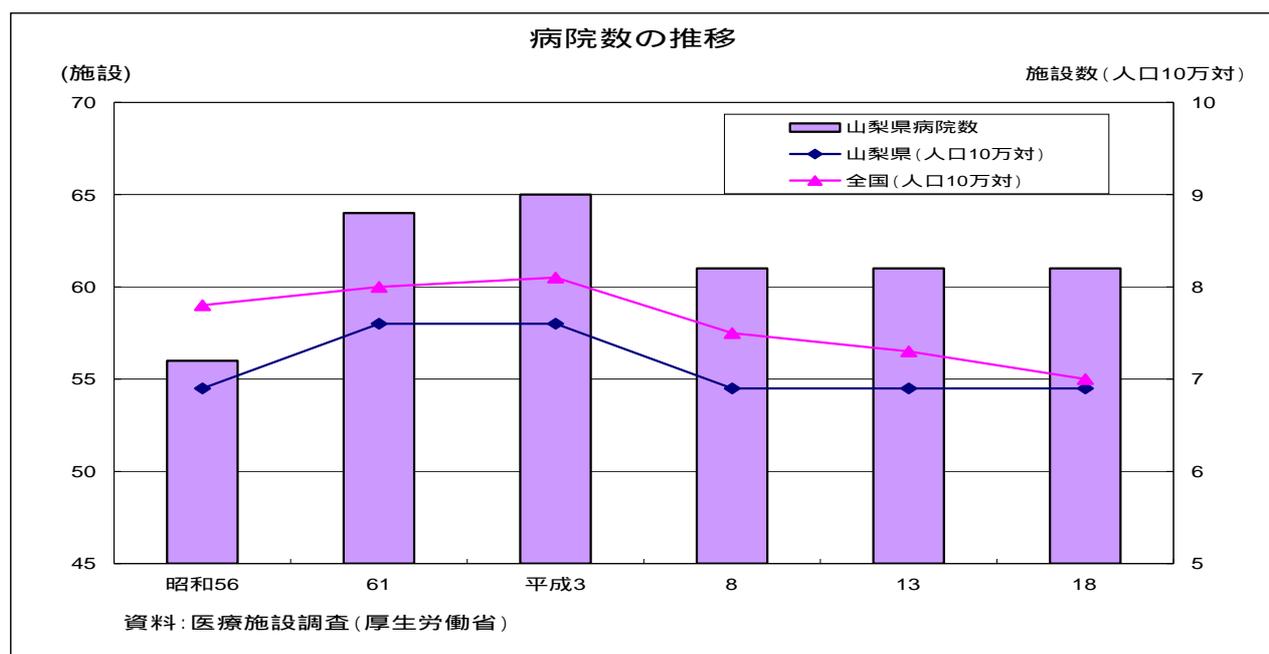
精神科病院数は8施設、人口10万対で0.9施設となり、全国平均0.8施設を0.1施設上回っています。

#### 病院数

（単位：施設）  
（平成18年10月1日現在）

	病院（一般病院＋精神科病院）		一般病院		精神科病院	
	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対
全病院数	8,943	7.0	7,870	6.2	1,072	0.8
山梨県総数	61	6.9	53	6.0	8	0.9
中北医療圏	33	6.9	28	5.9	5	1.1
峡東医療圏	14	9.7	13	9.0	1	0.7
峡南医療圏	6	9.7	6	9.7	0	0
富士・東部医療圏	8	4.1	6	3.1	2	1.0

資料：医療施設調査（厚生労働省）



平成 18 年 10 月 1 日現在における県内の病院の病床数は、11,484 床で、内訳は一般病床が 6,403 床（55.8%）、療養病床が 2,505 床（21.8%）、精神病床が 2,454 床（21.4%）、結核病床が 94 床（0.8%）、感染症病床が 28 床（0.2%）となっています。

平成 14 年の病床数と比較すると、病床全体で 2.3% 減少しています。このうち、一般病床が 9.0%、精神病床が 5.9%、結核病床が 14.5%、それぞれ減少していますが、一方で療養病床が 26.7%、感染症病床が 7.7% 増加しています。

### 病院の病床数の推移

（単位：床）

年別	病床種別	総数	中北	峡東	峡南	富士・東部
平成14年	総数	11,754	6,882	2,588	576	1,708
	一般	7,034	4,049	1,565	418	1,002
	療養	1,977	1,207	460	150	160
	精神	2,607	1,530	541	0	536
	結核	110	86	18	0	6
	感染症	26	10	4	8	4
平成15年	総数	11,791	6,840	2,671	572	1,708
	一般	6,755	3,958	1,401	418	978
	療養	2,297	1,256	707	150	184
	精神	2,607	1,530	541	0	536
	結核	110	86	18	0	6
	感染症	22	10	4	4	4
平成16年	総数	11,752	6,827	2,655	562	1,708
	一般	6,633	3,952	1,295	408	978
	療養	2,391	1,260	797	150	184
	精神	2,596	1,519	541	0	536
	結核	110	86	18	0	6
	感染症	22	10	4	4	4
平成17年	総数	11,539	6,620	2,645	562	1,712
	一般	6,415	3,734	1,295	408	978
	療養	2,505	1,314	797	150	244
	精神	2,497	1,490	531	0	476
	結核	94	70	18	0	6
	感染症	28	12	4	4	8
平成18年	総数	11,484	6,509	2,701	562	1,712
	一般	6,403	3,672	1,345	408	978
	療養	2,505	1,314	797	150	244
	精神	2,454	1,441	537	0	476
	結核	94	70	18	0	6
	感染症	28	12	4	4	8

資料：医療施設調査（厚生労働省）

注 医療圏はH18から4医療圏に再編されたため、H14～17は旧8医療圏の病床数を4医療圏に区分して表示した。

## (2) 一般診療所

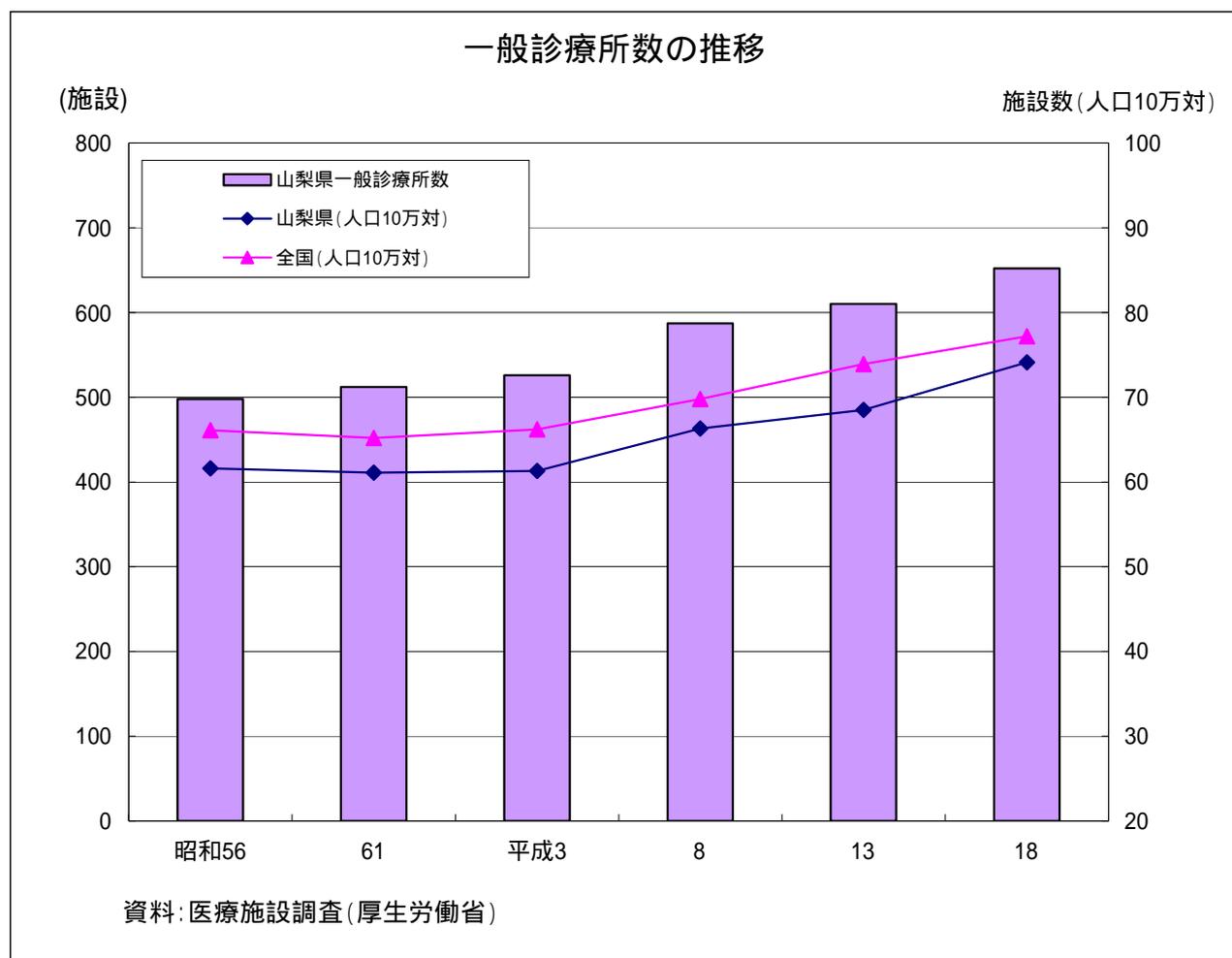
医療施設調査（厚生労働省）によると、平成18年10月1日現在の本県における一般診療所数は652施設、人口10万対で74.1施設となり、全国平均77.2施設を3.1施設下回っています。

### 一般診療所数

(単位:施設)  
(平成18年10月1日現在)

	一般診療所	
	実数	人口10万対
全国総数	98,609	77.2
山梨県総数	652	74.1
中北医療圏	397	83.4
峡東医療圏	77	53.1
峡南医療圏	47	75.8
富士・東部医療圏	131	66.8

資料:医療施設調査(厚生労働省)



### (3) 歯科診療所

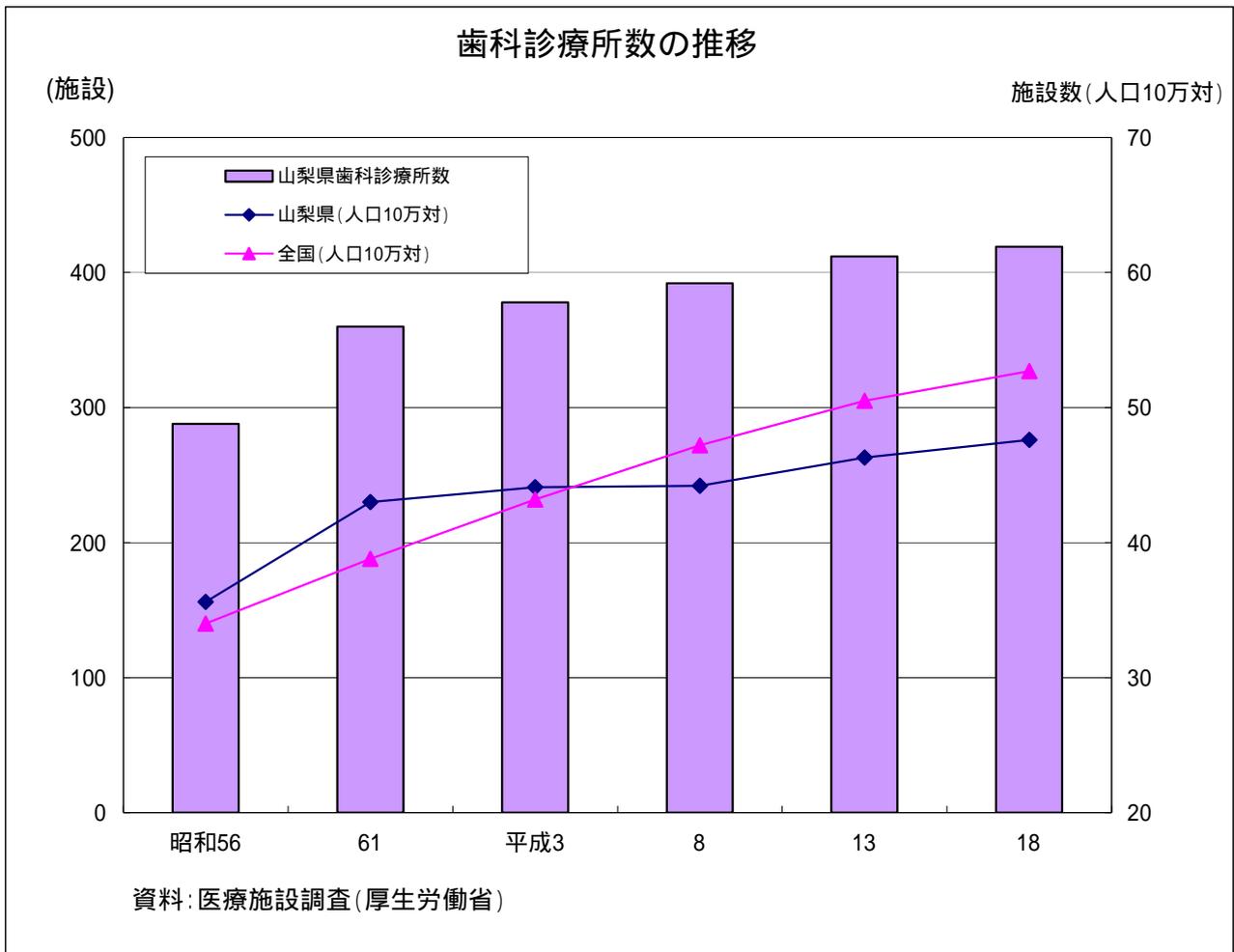
医療施設調査（厚生労働省）によると、平成18年10月1日現在の本県における歯科診療所数は419施設、人口10万対で47.6施設となり、全国平均52.7施設を5.1施設下回っています。

#### 歯科診療所数

(単位：施設)  
(平成18年10月1日現在)

	歯科診療所	
	実数	人口10万対
全国総数	67,392	52.7
山梨県総数	419	47.6
中北医療圏	239	50.2
峡東医療圏	58	40.0
峡南医療圏	30	48.4
富士・東部医療圏	92	46.9

資料：医療施設調査（厚生労働省）



#### (4) 薬局

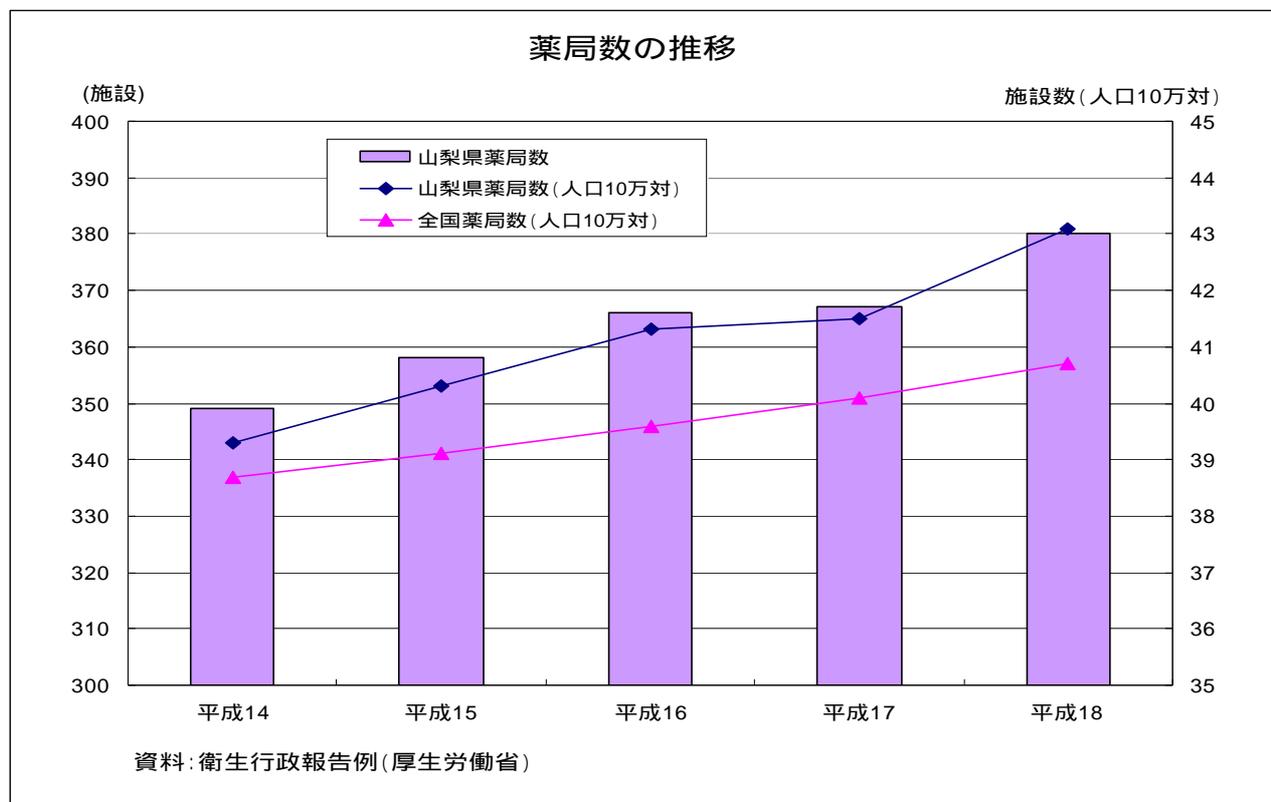
衛生行政報告例(厚生労働省)によると、平成19年3月末現在の本県における薬局数は380施設、人口10万対で43.2施設となり、全国平均40.7施設を2.5施設上回っています。

#### 薬局数

(単位：施設)  
(平成19年3月末現在)

	薬局数	
	実数	人口10万対
全国総数	51,952	40.7
山梨県総数	380	43.2
中北医療圏	224	47.1
峡東医療圏	54	37.2
峡南医療圏	22	35.5
富士・東部医療圏	80	40.8

資料：県衛生薬務課



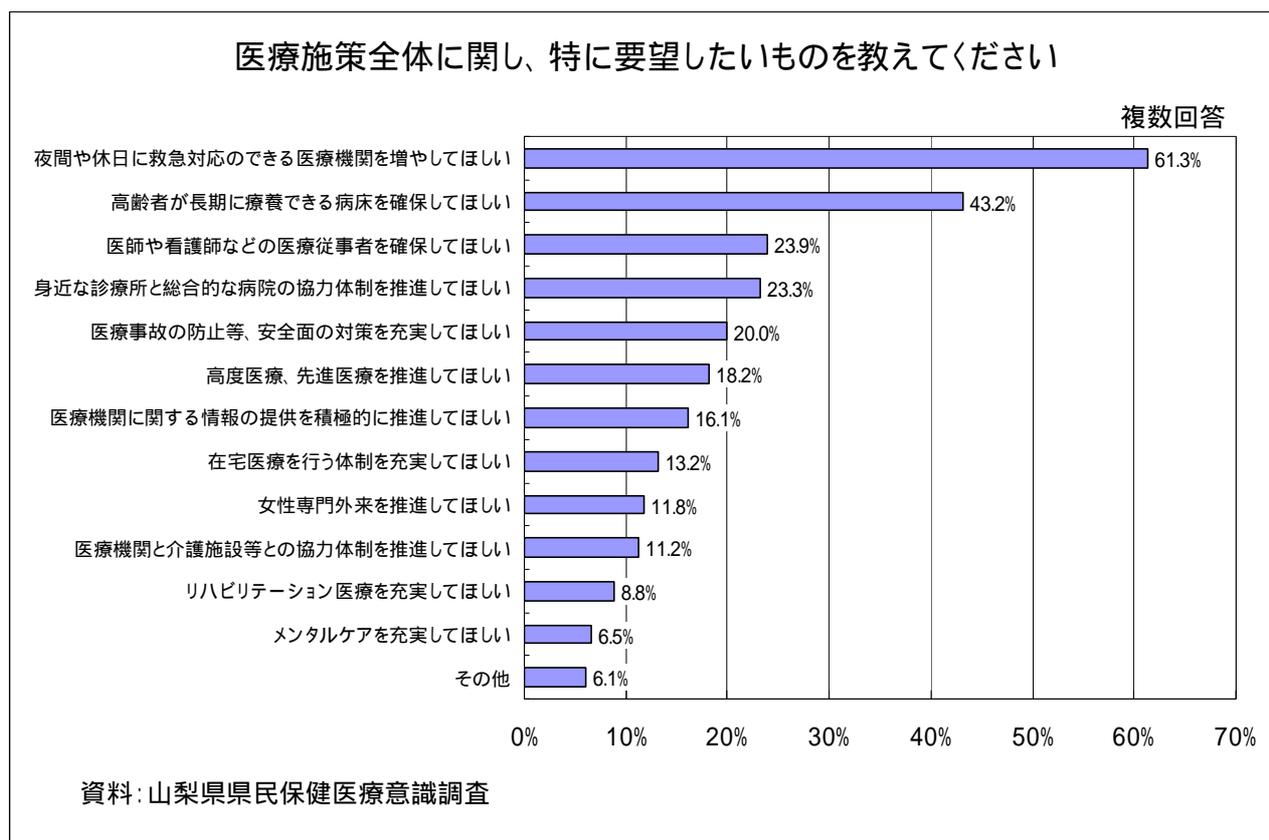
## 4 県民の保健医療に対する意識と受療動向

### (1) 県民の保健医療に対する意識

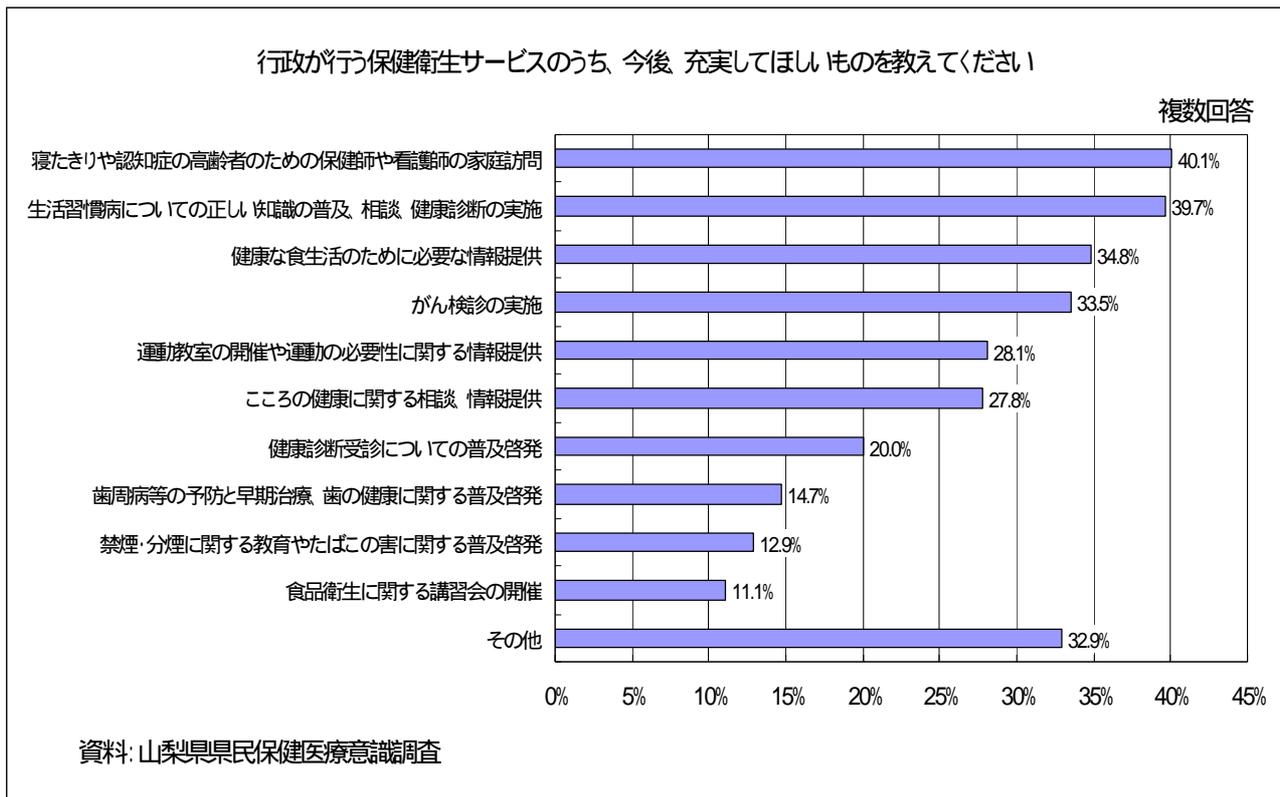
本県では、県民の日常生活における保健医療に関する意見や要望の把握を目的として、平成 19 年 3 月に「山梨県県民保健医療意識調査」を実施しました（山梨県内在住の 20 歳以上の男女 4,500 人を対象、有効回収率 62.6%）。その結果概要は、以下のとおりです。

### (2) 医療施策への要望

医療施策への要望については、「夜間や休日に救急対応のできる医療機関を増やしてほしい」が 61.3%と最も多く、次いで、「高齢者が長期に療養できる病床を確保してほしい」が 43.2%、「医師や看護師などの医療従事者を確保してほしい」が 23.9%、「身近な診療所と総合的な病院の協力体制を推進してほしい」が 23.3%と続いています。

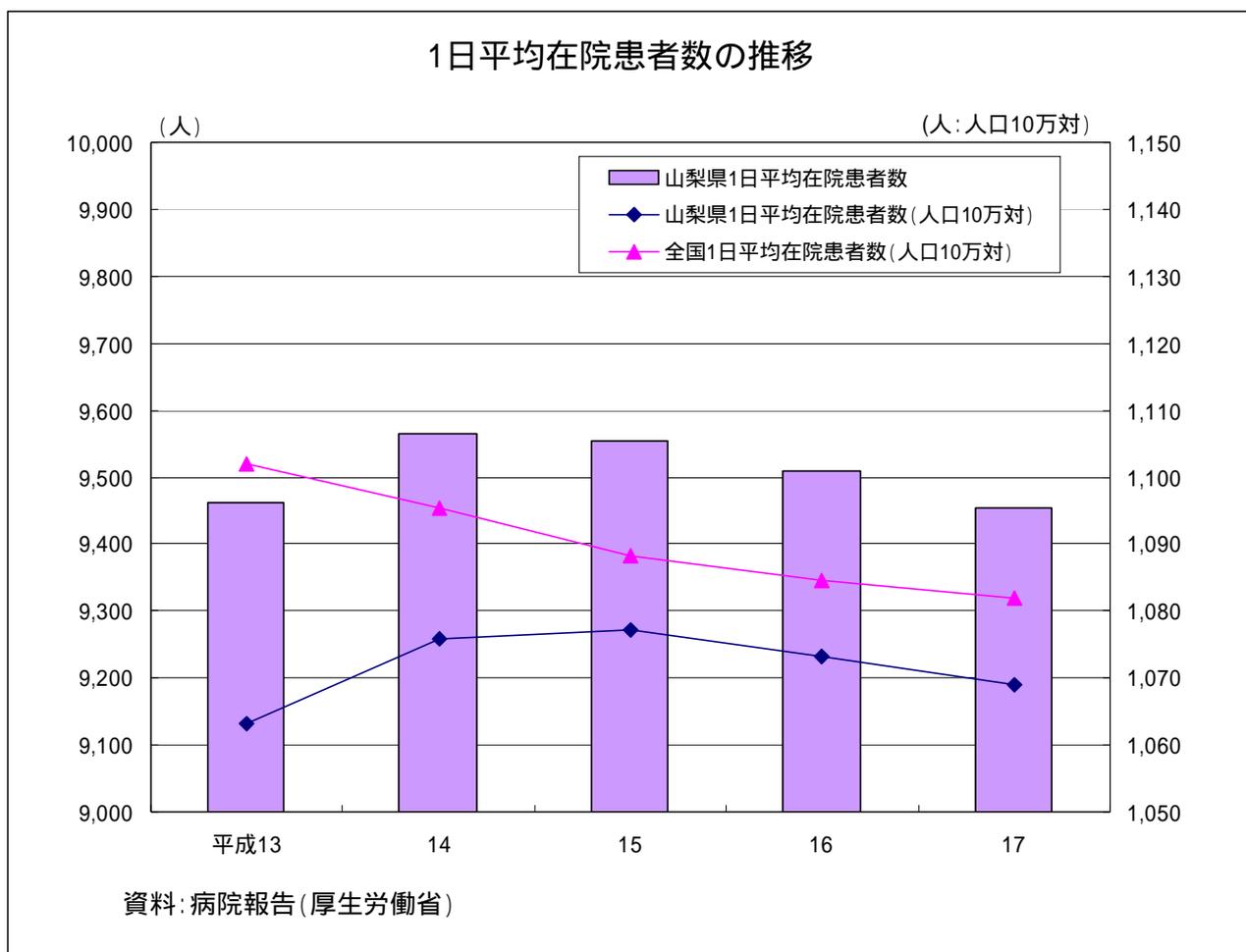


充実を望む保健衛生サービスについては、「寝たきりや認知症の高齢者のための保健師や看護師の家庭訪問」が40.1%と最も多く、次いで、「生活習慣病についての正しい知識の普及、相談、健康診断の実施」が39.7%、「健康な食生活のために必要な情報提供」が34.8%、「がん健診の実施」が33.5%と続いています。

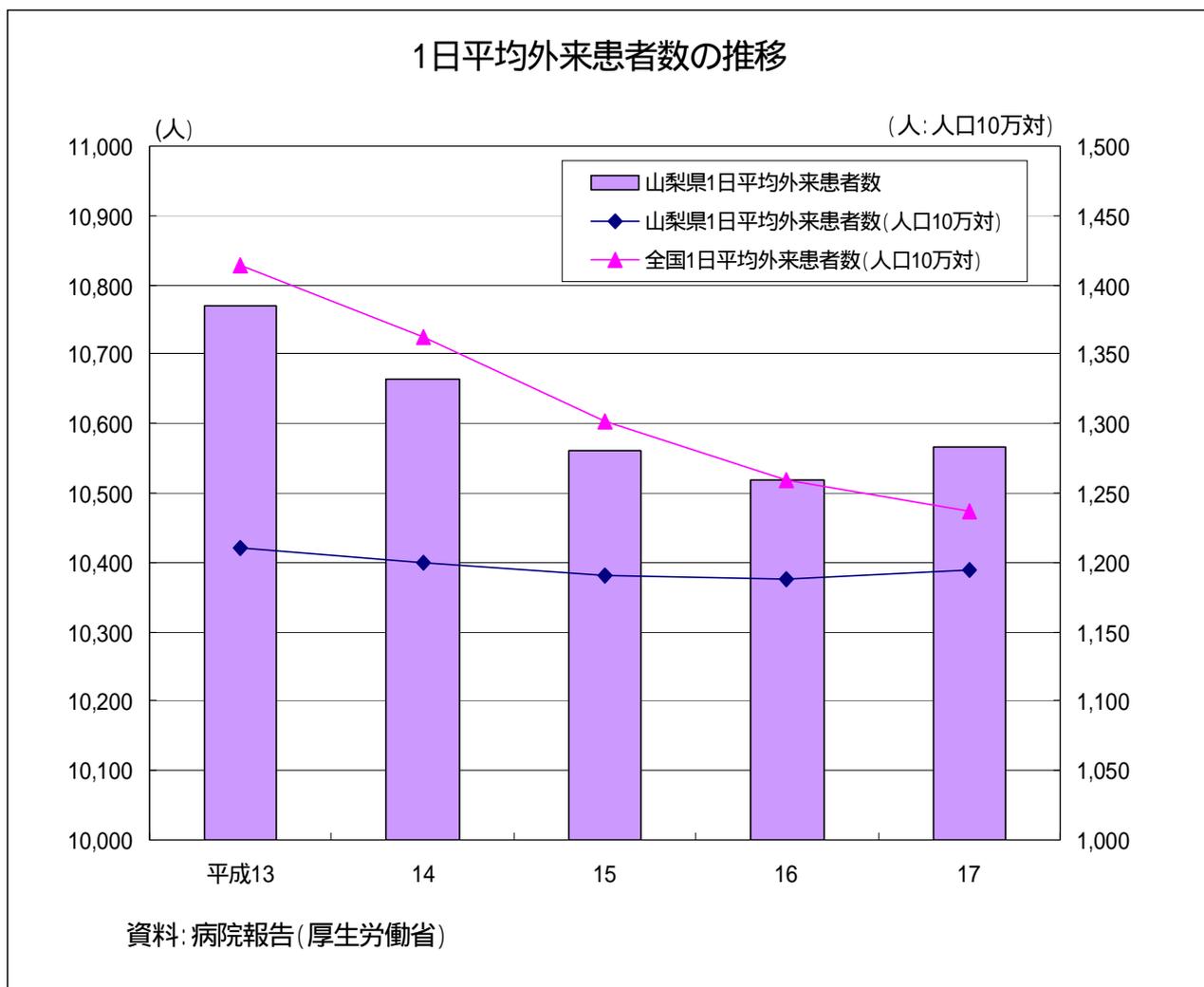


### ( 3 ) 住民の受療動向

病院報告(厚生労働省)によると、本県における平成17年の1日平均在院患者数は9,454人、人口10万対で1,068.9人となり、全国平均1,081.8人に比べ12.9人少なく、本県における平成16年の1日平均在院患者数1,073.2人に比べ4.3人減少しています。



病院報告(厚生労働省)によると、本県における平成17年の1日平均外来患者数は10,566人、人口10万対は1,194.6人となり、全国平均1,236.3人に比べ、41.7人少なく、本県における平成16年の1日平均外来患者数1,187.2人に比べ7.4人増加しています。



平成 17 年の患者調査（厚生労働省）によると、傷病別の入院受療率（人口 10 万対）は、本県及び全国ともに「精神及び行動の障害」が 241 人、255 人と最も多く、次いで、「循環器系の疾患」が 194 人、249 人、「新生物」が 140 人、133 人と続いています。

また、傷病別の外来受療率（人口 10 万対）は、本県及び全国ともに「消化器系の疾患」が 775 人、1,019 人と最も多く、上位 3 傷病は「消化器系の疾患」、「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」が占めています。

傷病分類別の受療率(人口10万対)

(単位:人)

傷病名	全 国		山 梨	
	入院	外来	入院	外来
総数	1,145	5,551	1,074	4,956
感染症及び寄生虫症	21	178	19	166
結核(再掲)	5	2	4	1
新生物	133	160	140	144
悪性新生物(再掲)	113	110	118	90
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5	21	3	14
内分泌、栄養及び代謝疾患	31	299	29	324
糖尿病(再掲)	24	158	22	178
精神及び行動の障害	255	176	241	195
神経系の疾患	76	112	64	122
眼及び付属器の疾患	10	261	12	260
耳及び乳様突起の疾患	2	90	2	89
循環器系の疾患	249	743	194	706
心疾患(高血圧性のものを除く)(再掲)	47	112	41	78
脳血管疾患(再掲)	183	96	141	59
呼吸器系の疾患	62	593	65	570
消化器系の疾患	56	1,019	58	775
皮膚及び皮下組織の疾患	7	209	8	166
筋骨格系及び結合組織の疾患	54	769	50	570
尿路性器系の疾患	36	197	38	257
妊娠、分娩及び産じょく	15	11	17	5
周産期に発生した病態	5	2	8	2
先天奇形、変形及び染色体異常	5	9	6	10
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	19	60	18	68
損傷、中毒及びその他の外因の影響	96	238	95	191
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8	405	8	321

資料:平成17年患者調査(厚生労働省)